

## 近代 史学的方法 VS.ハディース方法 (4/5) : ハディースの格付け 前半

:

明: 承者 路の信 性に基づいた、 々なハディースの について。

目: [事言者ムハンマド彼の言 にして](#)

より: リ ム アッザ ?

日 05 Sep 2011

集日 05 Sep 2011

ハディース に携わった人々は、イスナド ( 承の ) を 成します。イスナドはハディースの情源を示し、この情 は にハディースの重要な部分となるのです (Azami

31) 。アル=ブハリ の の一人であるアブドッラ ブン アル=ムバラクは、次のように言ったと 告されています: 「イスナドは宗教の一部である。イスナドがなくければ、でも意のままに る事が出来たからだ。」 (Hasan 11)<sup>1</sup>

。イスナドが「第一のフィトナ ( : つまりイスラ ム国家の 乱と分裂) 」以前から用いられていたことを示す 料が一部にはありますが、ヒジュラ 一世 末までは完全に していませんでした (Azami 33) 。 (しかしながら、ジョン バトンは *Introduction to the Hadith*

のなかで、一世 にはまだイスナドが存在していなかったとしています。) 言者 (神の慈悲と祝福あれ) による特定の言行 を含むハディースの本文は、マトンと呼ばれます。

ハディースの格付けについては、 数の大まかな がありますが、本稿ではそのうちの7 目を に 明します。格付けにおける7 目は、以下に基づきます: 1) 特定の 威に言及されるもの、2) イスナドの び付き、3) イスナドの各 路に わる 承者の数、4) ハディースの 告において用いられる技法、5) イスナドとマトンの性 、6) ハディースのイスナド及びマトンにおいて された れた欠 、7) 告者の信 性と暗 力 (Hasan 14-16) 。

第一の目である、特定の 威に言及されるものに基づく格付けとは、すなわちそれが 言者、教友たち、または 者たちに 属されるのかどうかを めるものであらず?

(持ち上げられた) 承とは 言者自身にまで辿りつくものであり、それが最高の格付であるともみなされます (Burton 112) 。?????

(止まった) 承とは教友止まりのもの、そして??????

(途切れた) 承とは、教友の 者止まりのものです。これらの格付けは 言者の言行と、教友または 者たちのそれとを する重要なものです。

第二の目である、イスナドの び付きに基づく格付けとは、 数の なる をするものです。????

( した) のハディ スは、途切れなく 言者にまで なる 承路を持つことから、最上 のものとなります (Burton 111) 。????

( ばされた) のハディ スは、 承者路のいずれかの段 において隙 のあるものです (Azami とHasanによると、それは教友からハディ スを学んだ 者が、イスナドにおいて教友の名を省略したものであるとしています) 。??????

(断 した) のハディ スとは、 告する 者たち ( 者より前の世代) に近い部分のつながりが失われているものです。これはもし 承者のひとりがイスナドにおいて、たとえ同代に生きていたとしても直接の 威からハディ スを くことが不可能であった 合に用いられます。また一部の学者たちにおいて、ムンカティウという用 は、 告者が自身の 威 (典) に言及する代わりに「ある男性が私に 授したことによると」と述べるハディ スの 合にも用いられます (Hasan 22) 。????

(混乱した) のハディ スとは、イスナドにおいて 数の 告者が 的に欠如している 合のものであります。また、イスナドそのものが完全に欠落しており、 告者が 言者から直接引用するハディ スは、????? (ぶら下がった) と呼ばれます (Hasan 22) 。

第三の目においては、イスナドの各 路、すなわち 告者の各世代における 承者の数によって、ハディ スが格付けされます。二つの主な格付けは?????? ( 的) と????

(一) です。ア ハドに しては更にガリ ブ (乏しい、奇妙な)、アズィズ (珍しい、い)、またはマシュフル (有名な) などの 目に分 付けられます。ムタワ ティルのハディ スとは、大人数によって 告されており、嘘への集 的合意が 理的に不可能であること、そして偶然の一致がないに等しいもののことです。これらの 告者の必要最低人数はハ

ディ ス学者によって相 がありますが、4人から数百人までの幅があります (Azami 43) 。ムタワ ティルには意味上のものと、逐 的なものの方がありますが、前者の方がより一般的です。アル=ガザリ は、ハディ スはイスナドの始まり、中 、そして りの段でムタワ ティルでなければならないと条件付けています (Hasan 30) 。ハディ スがア ハドであるのは、告者の数がムタワ ティルのハディ スとして要求される人数に しない 合です。ハディ スがガリ ブとされるのは、イスナドにおけるいずれか (または全て) の段 において、ただ一人のみが 告している 合です。ハディ スがアズィズとされるのは、イスナドにおけるいずれか (または全て) の段 で、告者が二人だけしかいない 合です。イスナドにおける全ての段 で最低でも三人が 告している 合、それはマシュフルとして格付けされますが、この用 はガリ ブまたはアズィズとして始まるハディ スが最 段 においては大人数になっている 合にも使われることがあります (Hasan 32) 。

第四の 目では、その 告において用いられる技法に基づいてハディ スが格付けされます。既述されたように、生徒や学者がハディ スを学んだ に用いられる特定の学 法や 授法にして 当する特 ながあります。「ハッダサナ (彼は、私たちに とした)」、「アフバラナ (彼は、私たちに と えた)」、「サミウトウ (私は と いた)」などは全て、告者自身が自らの からハディ スを いたことを示す用 です。「アン (によれば)」と「カラ (彼は言った)」はより 味な表 であり、 から自ら いたか、他の から いたかのどちらとも意味します。 に「アン」はとても等 が低く、 々な 式の中のいずれの方法も含まれる 合を意味します (Azami 22)。「何某の 威によれば」「何某が言うには」を意味する 者の二つの用 が使用されることにより、その 味さからハディ スは弱いものであると格付けされることがあります (Hasan 33) 。?????

( 蔽)を 踐する者とは、彼が いてもいないことを から 告したり、会ったこともない同代の人物から 告する者のことです。これは、ハディ スを するにあたって、それが直接 かれたものでなければならないという原 に 反します (Burton 112) 。タドリ スの中でも最 の と なされるものは、信 のおかれる学者から根 の弱い 威が 告する 合に、その弱い 威を省いて信 のおける学者から直接 告をするというものです。このようなイスナドを 告する人物は、自らの から いたということを示すかもしれませ

んが、弱い 威については口を ざし、 に「アン（ によれば）」の用 を使って、イスナドにおける彼の とその次に来る信 性のある人物をつなげるという手口を用います（Hasan 34）。

イスナドを通して（ 言者を含む）全ての 告者たちが同一の 法を えたり、同 の追加的言明や意 を述べたり、あるいはハディ スを る に特定の行 を取ったりすることは、ムサルサル（均一のつながり）と呼ばれます。この の知 は、特定の のハディ スにおけるタドリ スの可能性をなくすことに寄与します（Hasan 35）。

---

## Footnotes:

1

Hasan, Suhaib. *An Introduction to the Science of hadeeth*. Riyadh: Darussalam, 1996.

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1166>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。